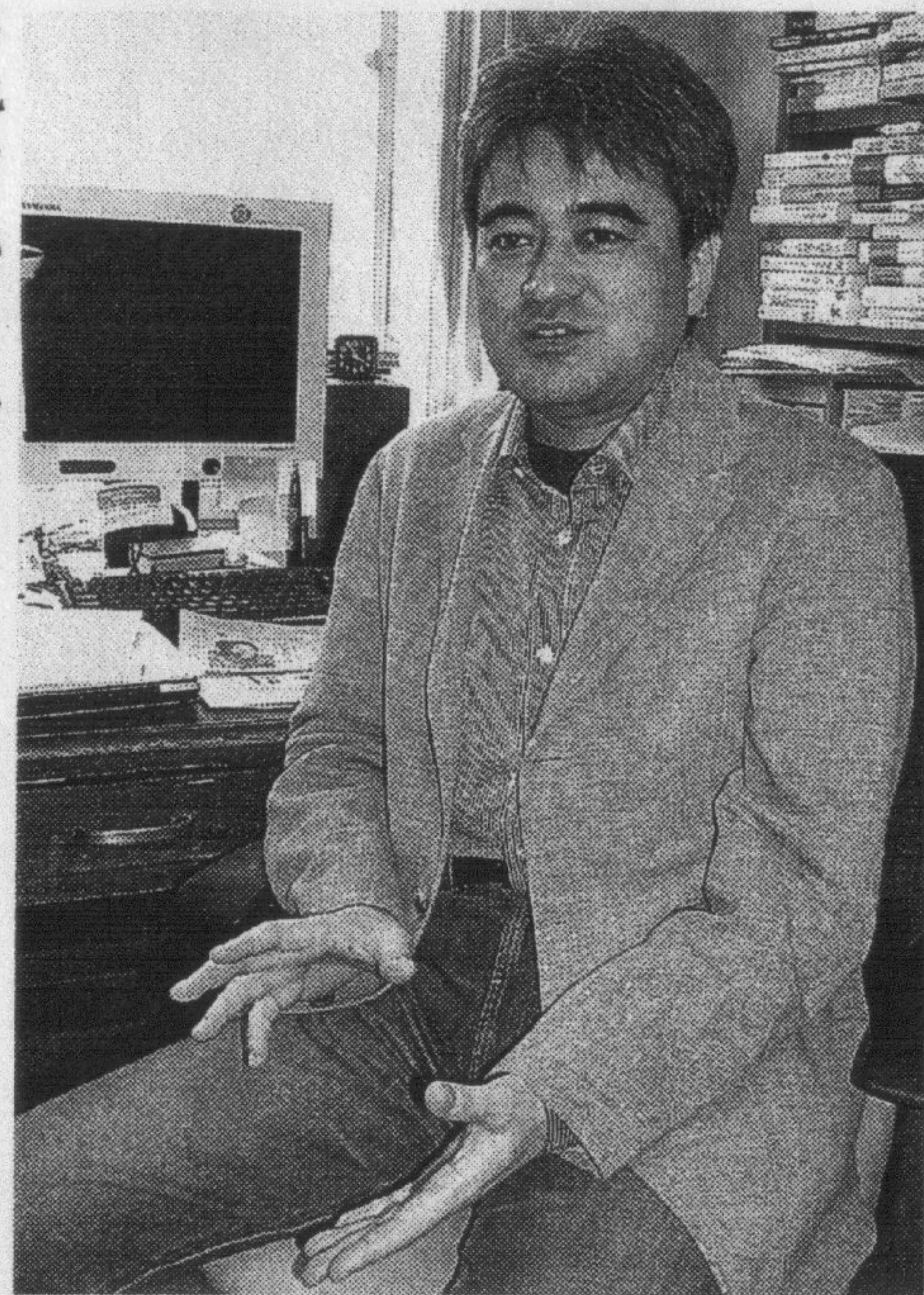


国民にとって「郷土」とは

神戸大助教授 大城直樹さん

「国民国家であれば、愛国心は必ずついてくる。ただ、どうしてもときにそれが社会の表面に出てくるのかを考えなければならぬ」と話す大城直樹助教授。神戸市灘区、神戸大



含まない「郷土としての国」をイメージさせる意図があるように見える。だが、郷土に関する著作もある大城直樹・神戸大助教授は、郷土教育と愛郷心・愛国心の深いつながりを指摘する。

(松岡 健)

教育基本法改正が国会で審議されている。改正案の検討段階では、与党内で「愛国心」の扱いを議論。「戦前の国家主義を連想させる」などの慎重論もあり、「我が国と郷土を愛する態度」との条文に落ち着いた。統治機構の「政府」を

「国」とは違って、「郷土」を愛する気持ちは自然に持つものと受け止められている。「郷土は単なる地理的な空間ではなく、そこには何らかの感情が合わさっている。離れて感じる郷愁などがそうだ。当たり前の存在のように思えるが、決して自然にあったものではない。明治時代以降自らの地域を他地に

近代国家の視点で誕生

愛国心育てる
仕組みと同じ

域と比べ、相対的に見ることを教えられ、多くの国民が郷土を意識するようになった。郷土教育と俗や農村的生活様式が研究されるようになった。郷土を愛する心も育たなかったらどう?

「その郷土教育は、ど新渡戸稲造を担いで『郷土会』を結成。彼らは農村への学問的関心を作り出した。ありふれた生活様式でも、研究や教育の対象になることを見いだ

いた。柳田や、後に沖繩方言を擁護した柳宗悦らの考えはいつたんだままり、沖繩の民俗は記録されるようになった。だが、やはり三〇年代には、方り、郷土はもとと政治的なものだったと言えるかもしれない。太平洋戦

る。日本全体もまた郷土というところ。ただし植民地は例外で、現地の伝統文化を大切に扱うと日本文化への同化政策と矛盾するため、郷土教育は行われなかったようだ。

編集委員
いんたびゅー

九二〇年代、ドイツからの影響で、郷土教育運動が盛んになった。当初、これは全国一律の均質的で中央集権的な教育への批判としての意味を持っていた。二〇年代後半から、文部省の肝いりの運動となったが、時局柄、戦時体制と連動するよう同化させる運動が起きて

郷土教育関連年表

1872 (明治5) 年	学制の頒布
91 (同 24) 年	小学校教則大綱制定。「郷土」という言葉が使われる
1910 (同 43) 年	柳田国男、小田内通敏らが「郷土会」の活動開始
30 (昭和5) 年	小田内らが「郷土教育連盟」設立
41 (同 16) 年	国民学校令公布、初等科第四学年に「郷土の観察」を課す
47 (同 22) 年	教育基本法・学校教育法の公布

(「郷土」研究会による年表を参考で作成)

あ・ん

一年余り前、CDラジカセで大音量の音楽を流し、隣人を不眠や頭痛に追いやり、逮捕された主婦がいた。

確かに音量は、国の環境基準を大きく上回っていたし、テレビ映像を見ながら、もっと早く対応できなかったのかと思っ

全国の自治体が二〇〇四年度に受けた騒音苦情は、一万六千二百件。殆どは閉口する。メロ生源別では、工場・事業場、建設作業、営業と続

身近

おおしろ・なおき 1963年那覇市生まれ。94年大阪市立大大学院単位取得退学。九州大助手を経て、95年から神戸大文学部助教授。専門は文化地理学。共著に「空間から場所へ—地理学的想像力の探求」「郷土—表象と実践」、共訳にハーヴェイ「パリーモダニティの首都」など。

教育界や警察など公権力の抑圧が繰り返した

戦前の国家にとって郷土の多様性は否定すべきものだった。

近代の国民国家が成立するには、国民の均質性が前提になる。「日本国民」というのは、ずっと昔からいたと思われるかもしれないが、実はそうではない。江戸時代までの人々の多くは、日本という国の全体を想像することが難しく、国民国家的な意味で同じ国民として存在していたとは言

争の直前になると、国民学校に「郷土の観察」という科目が置かれる。身

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「教育基本法改正案に「郷土」という言葉が含まれている。

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない

「愛郷心には政治色がみは同じものだ。郷土は国民国家的な視点でしか生まれなかった事実を、あらためて確認しておかなければならない。より良い郷土教育の姿は、簡単にイメージできない